



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**(共通)**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT/SSCS1135		
科目名	教育学 1		
担当教員	宮島 健次		
対象学年	1年,2年,3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	月 2		
講義室	1206	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	総合教育科目		
科目中分類	総合基礎		
科目小分類	文化教養		
科目の位置付け (開発能力)	<p>■ D P コード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP3 問題を探求し、状況を的確に把握・分析して、合理的な判断につなげられる知性</p> <p>■ C R コード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック (C R) との関連 C1 倫理的思考・社会認識 (30%) D1 文化的素養・市民的教養 (40%) I1 理解力・分析力 (30%)</p>		
教員の実務経験	なし		
成績ターゲット区分	2 進行期 ~ 3 発展期		
科目概要・キーワード	<p>■ 科目概要 教育学とはどのような学問か、ということから始まり、教育の原理やその方法や技術について、教育学の理論等学問的成果を紹介していきます。教育は学校だけで行われているわけではありません。あらゆる人が教える立場、いわゆる教え手になる可能性があります。そこで、本科目では学校教育のみならず、できるだけ汎用的な視点から、「人に教える」こと、そして「人から学ぶこと」について考察していきます。 授業形態は講義形式により行います。なお対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。</p> <p>■ キーワード 教育・教育制度・教育原理・教育方法</p>		
授業の趣旨	<p>■ 副題 教育学の学問的「視点」を身につけましょう。</p> <p>■ 授業の目的 教育学が理想とする「教育」とはどのようなものなのか、果たしてそれはこれまで皆さんが受けてきた「教育」と同じなのか、異なるのかという点を深く理解し、そのイメージを自分自身の中に構築するとともに、将来自分自身が「教える」立場になったり、親として子どもを「育てる」ようになったときに必要となる知識やスキル、マインドを身につけることを目的とします。</p> <p>■ 授業のポイント 常に、自分自身が受けてきた「教育」をふりかえり、自分だったらどのように「教育」するかという当事者意識をもつことと、自分自身の既有知識のそれぞれに関連付けるような意識を持つことです。</p>		

総合到達目標	<p>■教育とは何か、自分の言葉で説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いい教育」「教える」「学ぶ」とは、どういうことか自分のことばで説明できる。(第2回) ・教育を効果的にする要素が何かを説明できる。(第3回) ・人が変化するプロセスや教育とマインドコントロールの違いを説明できる。(第4～5回) ・モチベーションをコントロールする方法やレジリエンスを見極める方法を理解し、自分が「教える」立場になったときに、どのようにふるまうべきかを理解し、実践できる。(第6～7回) <p>■どのように教育するか、自分の言葉で説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の「流れ=プロセス」には5つの局面があり、それぞれのコツ=スキルを説明できる。(第8～12回) ・教育のプロが失敗し、教育の素人が成功する事例から、教育の難しさを実感し、それを乗り越えるためにはどうするかを自分の言葉で説明できる。(第13～15回) 										
成績評価方法	<p>■成績評価手段 授業参加度(リアクション・ペーパーを含む)(25%)、第1回レポート(35%)、第2回レポート(40%)</p> <p>■適用ルーブリック: E1・H1・I1・M1</p> <p>■評価の観点 以下の4つの観点をもとに総合的に判断します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①指定された分量を書いているか。 ②文章を書くルールにのっとって書いているか。 ③授業内容やテキストの内容が簡潔にまとめられているか。 ④授業内容やテキストの内容にとどまらず、自分の考えを論理だてて、具体例を用いてわかりやすく示しているか。 <p>■フィードバック方法 ・授業時間中に解説を行います。</p>										
履修条件	なし										
履修上の注意点	なし										
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 1133 517 1178">回</th> <th data-bbox="517 1133 1495 1178">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 1178 517 1424">1</td> <td data-bbox="517 1178 1495 1424"> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 市民的教養(D1)という視点から、教育学とは何かといった概説的な話をするとともに、本授業の目的や到達目標、授業方法、成績評価等についての説明を行います。(C1・I1) ③予習(60分) シラバスを事前に精読しておくこと。 ④復習(180分) 授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1424 517 1693">2</td> <td data-bbox="517 1424 1495 1693"> ①授業テーマ 教育とは何か ②授業概要 これまでの自分自身の「学校経験」をふりかえ、「教える」「学ぶ」の本当の意味を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1693 517 1939">3</td> <td data-bbox="517 1693 1495 1939"> ①授業テーマ 教育を効果的にする要素 ②授業概要 教育を効果的にする要素を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。 </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1939 517 2157">4</td> <td data-bbox="517 1939 1495 2157"> ①授業テーマ 変化のプロセス ②授業概要 人がどのように変化するかを理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメ </td> </tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 市民的教養(D1)という視点から、教育学とは何かといった概説的な話をするとともに、本授業の目的や到達目標、授業方法、成績評価等についての説明を行います。(C1・I1) ③予習(60分) シラバスを事前に精読しておくこと。 ④復習(180分) 授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。	2	①授業テーマ 教育とは何か ②授業概要 これまでの自分自身の「学校経験」をふりかえ、「教える」「学ぶ」の本当の意味を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。	3	①授業テーマ 教育を効果的にする要素 ②授業概要 教育を効果的にする要素を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。	4	①授業テーマ 変化のプロセス ②授業概要 人がどのように変化するかを理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメ
回	内容										
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 市民的教養(D1)という視点から、教育学とは何かといった概説的な話をするとともに、本授業の目的や到達目標、授業方法、成績評価等についての説明を行います。(C1・I1) ③予習(60分) シラバスを事前に精読しておくこと。 ④復習(180分) 授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。										
2	①授業テーマ 教育とは何か ②授業概要 これまでの自分自身の「学校経験」をふりかえ、「教える」「学ぶ」の本当の意味を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。										
3	①授業テーマ 教育を効果的にする要素 ②授業概要 教育を効果的にする要素を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。										
4	①授業テーマ 変化のプロセス ②授業概要 人がどのように変化するかを理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメ										

	<p>ントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
5	<p>①授業テーマ マインドコントロールと教育 ②授業概要 マインドコントロールと教育の共通点、相違点を理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
6	<p>①授業テーマ やる気のコントロール ②授業概要 人のやる気はどのようにしたらコントロールできるか理解を深める。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。また、これまでの学習内容を確認し、中間レポートを作成すること。 ※中間レポート課題提示</p>
7	<p>①授業テーマ レディネスの見極め ②授業概要 レディネスを見極めるスキルを理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。また、これまでの学習内容を確認し、中間レポートを作成すること。</p>
8	<p>①授業テーマ 第2部 教育のプロセス①ガイダンス ②授業概要 教育のプロセスには5つの局面があり、その第1局面である「ガイダンス」について理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。。</p>
9	<p>①授業テーマ 第2部 教育のプロセス②モデリング ②授業概要 教育のプロセスには5つの局面があり、その第2局面である「モデリング」について理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
10	<p>①授業テーマ 第2部 教育のプロセス③ロールプレイ ②授業概要 教育のプロセスには5つの局面があり、その第3局面である「ロールプレイ」について理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
11	<p>①授業テーマ 第2部 教育のプロセス④フィードバック ②授業概要 教育のプロセスには5つの局面があり、その第4局面である「フィードバック」について理解する。(C1・D1・I1) ③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。 ④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
12	<p>①授業テーマ 第2部 教育のプロセス⑤フォローアップ ②授業概要 教育のプロセスには5つの局面があり、その第5局面である「フォローアップ</p>

	<p>プ]について理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。</p> <p>④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
13	<p>①授業テーマ 教育のプロが失敗するケース</p> <p>②授業概要 教育のプロが失敗するケースから、教育は難しいということを理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。</p> <p>④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p>
14	<p>①授業テーマ 教育の素人が成功するケース</p> <p>②授業概要 教育の素人が成功するケースから、何がその成功の要素となったのかを理解する。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。</p> <p>④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。</p> <p>※最終レポート課題提示</p>
15	<p>①授業テーマ 第2部のまとめ 21世紀の教育を考える</p> <p>②授業概要 これまでの内容をふりかえるとともに、21世紀における教育とはどのようなものであるべきかを考える。(C1・D1・I1)</p> <p>③予習(60分) 前回の授業内容をもとに作成・提出した「事後課題」をふりかえり、前回の内容を復習すること。</p> <p>④復習(180分) 「フィードバックの時間」を通じて示された受講生や授業者からのコメントから自らの「学び」を得るとともに、授業内容をもとに、Google Classroomに提示された事後課題に取り組むこと。また、これまでの学習内容を確認し、最終レポートを作成すること。</p>
関連科目	教育学2 (RMGT/SSCS 1136)
教科書	使用しません。
参考書・参考URL	授業内で適宜指示します。
連絡先・オフィスアワー	<p>〈連絡先〉 開講時に告知します。</p> <p>〈オフィスアワー〉 授業終了時、あるいはメール等によって対応します。</p>
研究比率	

